

We entertain politics

政治のトークンエコノミーを作る「ポリポリ」の概要

目次

1	Why? 課題・ビジョン	1A どのような課題を解決したいか 1B どうやって解決するのか 1C どのような社会を築いて行きたいのか
2	What プロダクト・ビジネスモデル・	2A どのようなプロダクトなのか 2B ビジネスモデルについて 2C 法律的な問題
3	Where? 市場	3 狙う市場
4	How 価値提供	4A ターゲットユーザー 4B 想定されるカスタマージャーニー
5	When? マイルストーン	5 マイルストーン-どのようなスケジュールでプロジェクトを進めるか
6	Who? チームメンバー	6 プロジェクトメンバーについて
7	Other よくある質問	7A よくある質問 7B 引用

1A どのような課題を解決したいか

政治家の情報発信

政治コミュニティの荒廃

政治家の情報不足

1A どのような課題を解決したいか

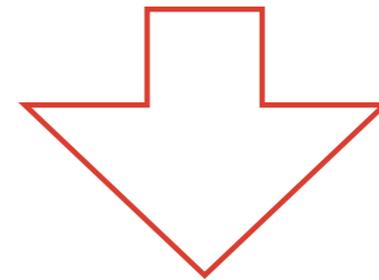
政治コミュニティの荒廃

政治という様々な主張がある分野であるため異なる意見の人への誹謗中傷などが多く見られ、コミュニティが荒廃してしまう。

実際、過去サービスやキャンペーンではユーザー数は多く着くがコミュニティが荒れる例が多く見られる。

1A どのような課題を解決したいか

政治家は政策作成などの業務に加えて
支持票を集めるための挨拶や街頭演説を行ってきた



政治家の情報発信が大変

ネットを使った政治活動が解禁し活用する意欲はあるが
リテラシー不足と普段の業務の多忙さにより情報発信が
満足にできておらず、既存のネットサービスでは地域など
ごとにセグメントを切ることができない。

国会議員ですら47%が満足にネットを使いきれていない

1A どのような課題を解決したいか

政治家への情報不足

マスメディアの報道は人気政治家やスキャンダルに集中。

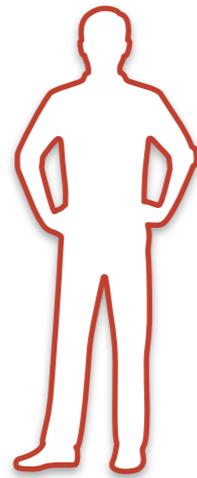
選挙前など政治家が何をしてきたかなどの情報が圧倒的に不足している。

また、政治家へ意見できる機会が選挙しかなくインターネットで政治家に意見できる場などが整っておらず政治家と市民が遠い。

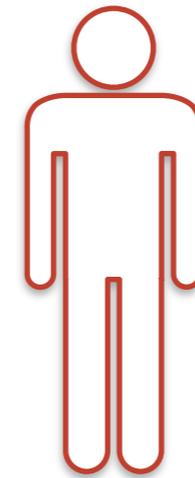
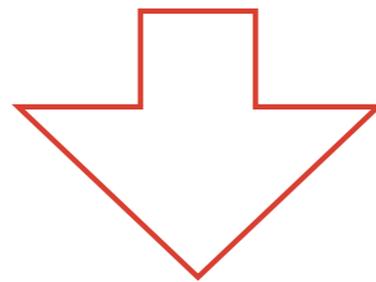
2017年の衆院選では、**55%**が政治家の情報が足りなかったと回答

1B どうやって解決するのか

政治家と市民が「良い」発言をすればトークンが集まる



政策や主張を発信をすればトークンがもらえるという新しい形の個人献金プラットフォームとなる。



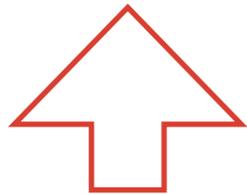
良い発言をすればトークンがもらえるという議論プラットフォームとなる。誹謗中傷などコミュニティを荒らせばトークンが失われていく。

1A どのような課題を解決したいか

政治家の情報発信が大変

政治コミュニティの荒廃

政治家への情報不足



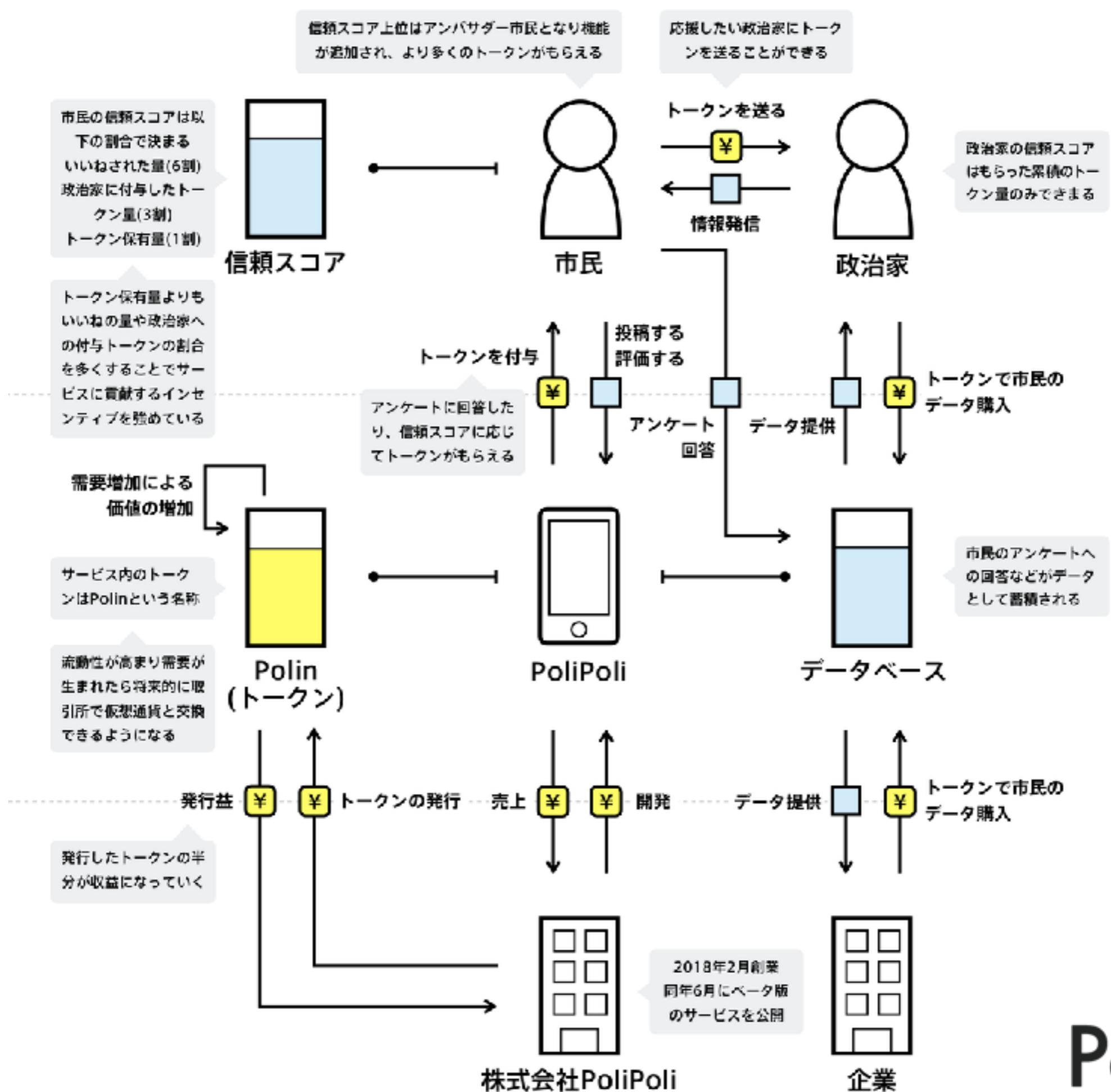
SNS同時投稿機能や地域に特化した情報発信機能などを付け、政治家の情報発信プラットフォームとなることで、政治家の情報発信のコストを下げる

トークンというインセンティブがあるため質の高いコミュニティが形成できる

炎上リスクがなくトークンがもらえるため政治家は発言しやすい

1C どのような社会を実現したいのか

ネット上で新しい政治の場を作る

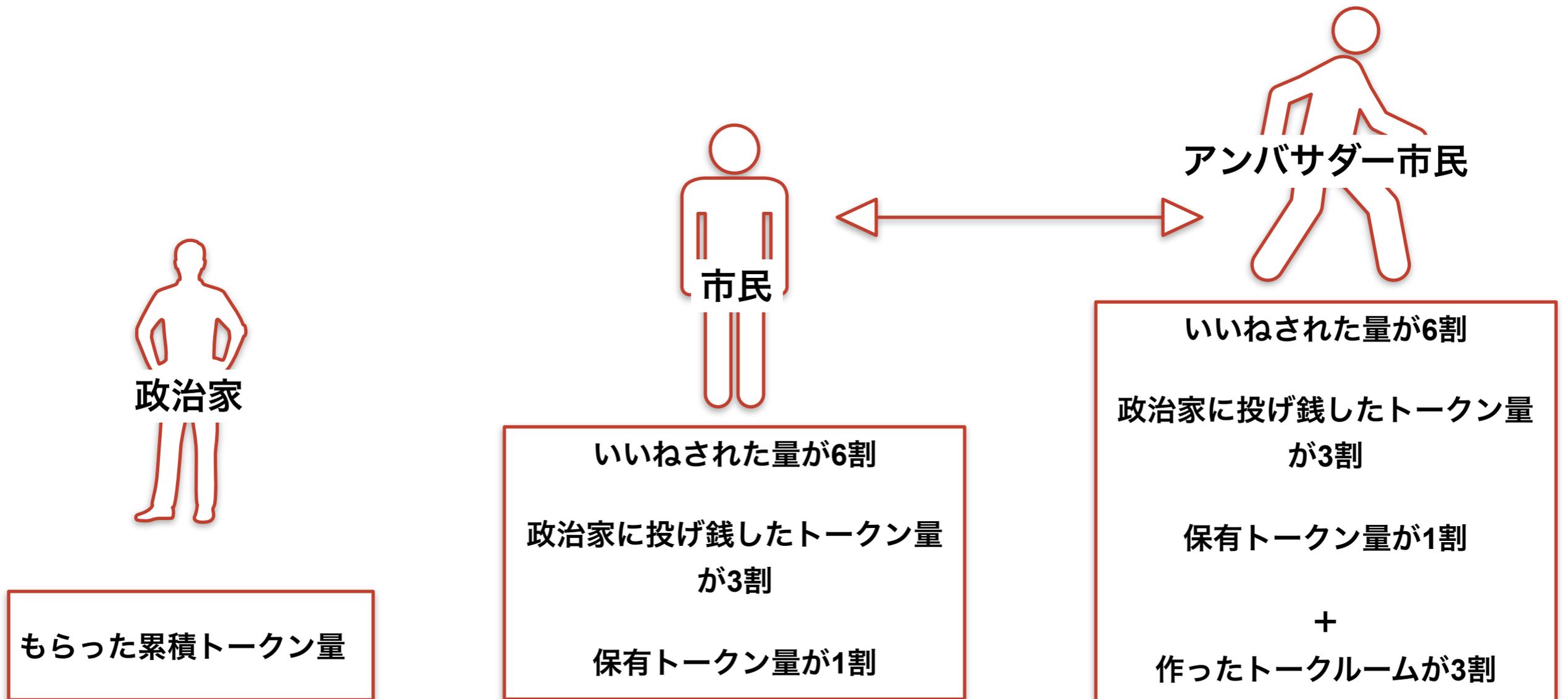


2A どのようなプロダクトなのか-信頼スコアについて

1ヶ月ごとに、上位の信頼スコアを持つ市民はアンバサダー市民になることができる。

アンバサダーは政治的インフルエンサーであり、トークンを多く持つためトークンの価値を保とうとコミュニティを健全に保つインセンティブが働く。

また、アンバサダーになれば様々な特典がつくため1ヶ月ごとにこの座を狙ってハマるユーザーを想定。



※政治家はもらったPolinを使っても信頼スコアが下がることはない

※トークンの売り圧を防ぐため使ったり保有するインセンティブを与える

※MAXが市民が10とするとアンバサダーは13

2A どのようなプロダクトなのか-信頼スコアについて

市民の信頼スコア = もらったいいねでの評価 + 政治家へのトークンでの評価 + 保有トークンでの評価とし、信頼スコアを100とし、いいね数での評価を60、政治家へのトークンを30、保有トークンのものを10とする。

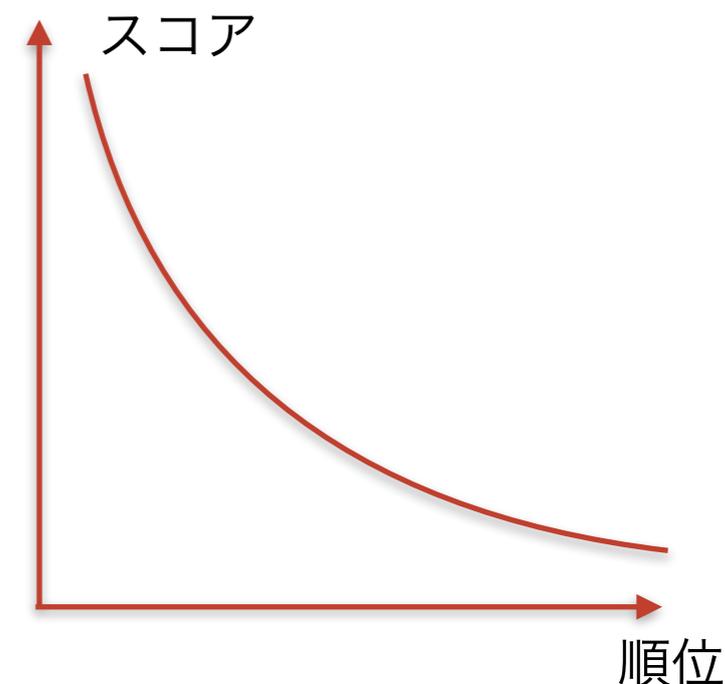
n = ユーザー数

X = 「もらったいいね」のサービス内での順位

Y = 「政治家へのトークン量」のサービス内での順位

Z = 「保有トークン量」のサービス内での順位、とおく。

サービス内で活発になればなるほど、信頼スコアが上がるような設計にするために右のようなグラフをイメージする。



$$\text{もらったいいねでの評価スコア} = 60 - \log n X \cdot 60$$

$$\text{政治家へのトークンでの評価スコア} = 30 - \log n Y \cdot 30$$

$$\text{+)保有トークンでの評価スコア} = 10 - \log n Z \cdot 10$$

信頼スコア

※ 小数点第4位以下は四捨五入

※ アンバサダーも同様に

2A どのようなプロダクトなのか-β版デザインについて

まずトークンを絡ませないβ版をリリースし、政治コミュニティを徐々に形成していく



全国の政治家の
信頼を可視化



実績や政策を簡単
にまとめる

応援したい政治
家がいいねする

2A どのようなプロダクトなのか-β版デザインについて

まずトークンを絡ませないβ版をリリースし、政治コミュニティを徐々に形成していく

回答した質問はSNS
でシェアできる



政治家に対して質問
でき、良い質問には
いいねが集まる

2A どのようなプロダクトなのか-β版デザインについて

まずトークンを絡ませないβ版をリリースし、政治コミュニティを徐々に形成していく



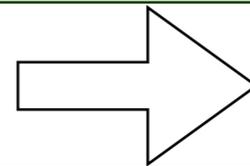
トークルームを作れ
政治記事も配信



政治家も有権者も
ユーザーは記事に対し
てコメントする

2B ビジネスモデルについて-マネタイズ

	トークン無料配布期間 (2018年9-12月)	1年目	2年目	3年目	4年目
発行量	18億Polin	12億Polin	9.6億Polin	9.6億Polin	7.2億Polin



発行分の半分がPoliPoliの収益に

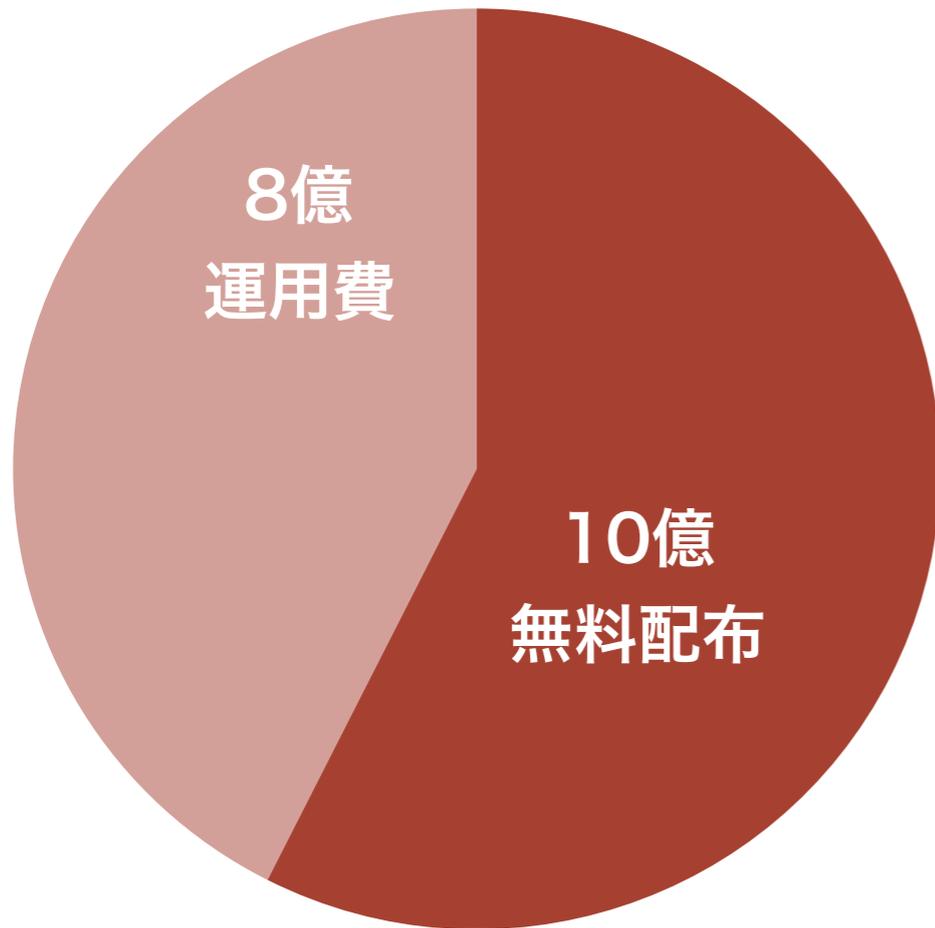
	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
発行量	7.2億 Polin	7.2億 Polin	4.8億 Polin	4.8億 Polin	4.8億 Polin	4.8億 Polin

マネタイズは通貨発行益

(例) 1年目に1Polinが0.25円の価値がついた場合6億Polinが収益であり年の売り上げは1.5億円

10年後はデータや他事業でトークンがPoliPoliに入る

2B ビジネスモデルについて-初期配布の配分について



	トークン無料配布期間 (2018年9-12月)
配布量	18億Polin

仕様用途

10億・・・無料配布

8億・・・運用費

2018年9月~12月に18億Polinを発行する。

10億PolinをAirdropに使用し無料配布し、8億Polinをその後を考慮し運用費として保有する。なお、運用費は、マーケティングなどサービスを活発にさせるために使用する。

2B ビジネスモデルについて-マネタイズ (参考数字)

	トークン総発行量	1トークンの値段	トークン時価総額
Steemit	3億STEEM	170円	500億円
EOS	9億EOS	1000円	1兆円
Brave	15億BAT	18円	270億円

2C 法律的な問題

顧問弁護士と相談し、仮想通貨に関する法律・政治資金規正法・公職選挙法などの各法律に遵守しながらサービスを進めて行く。

主に抑えるポイントは以下。

- ・ 献金者側の情報(居住地、年齢、本名など)を所得する

→外国人からの献金は禁止されているので、投げ銭するときにはパスポート認証などを

- ・ 市民一人が一人の政治家に対して年間150万円を超えないように

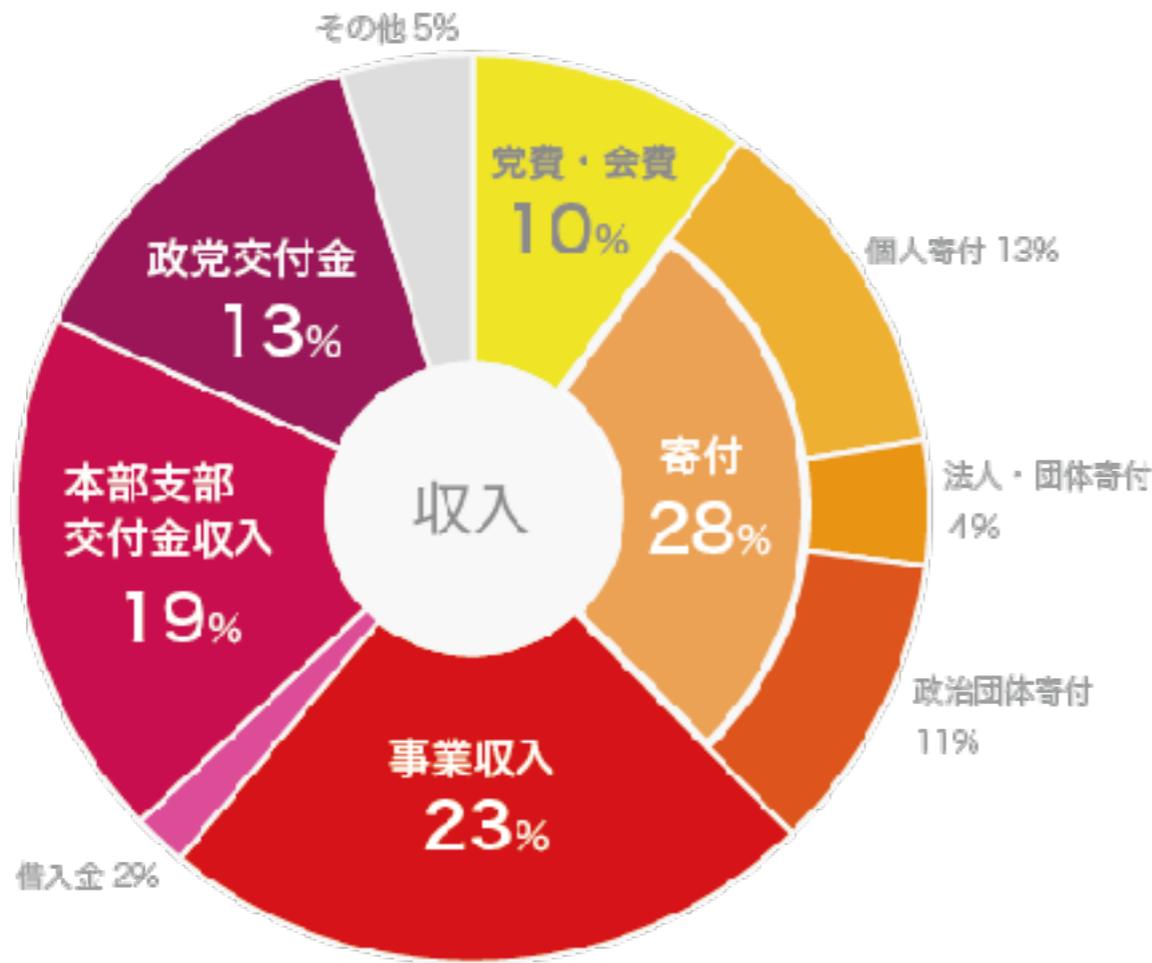
- ・ 仮想通貨献金は政治資金規正法上の物品寄付に当たる

→過去にビットコイン献金を集めた国会議員の先例も

3 狙う市場

ポリポリシステムが稼働すれば、既存の献金市場をさらに広げることを想定しているが以下が既存の献金市場。（日本のみのデータ）

※個人献金は法律的には問題なくむしろ推奨されている。

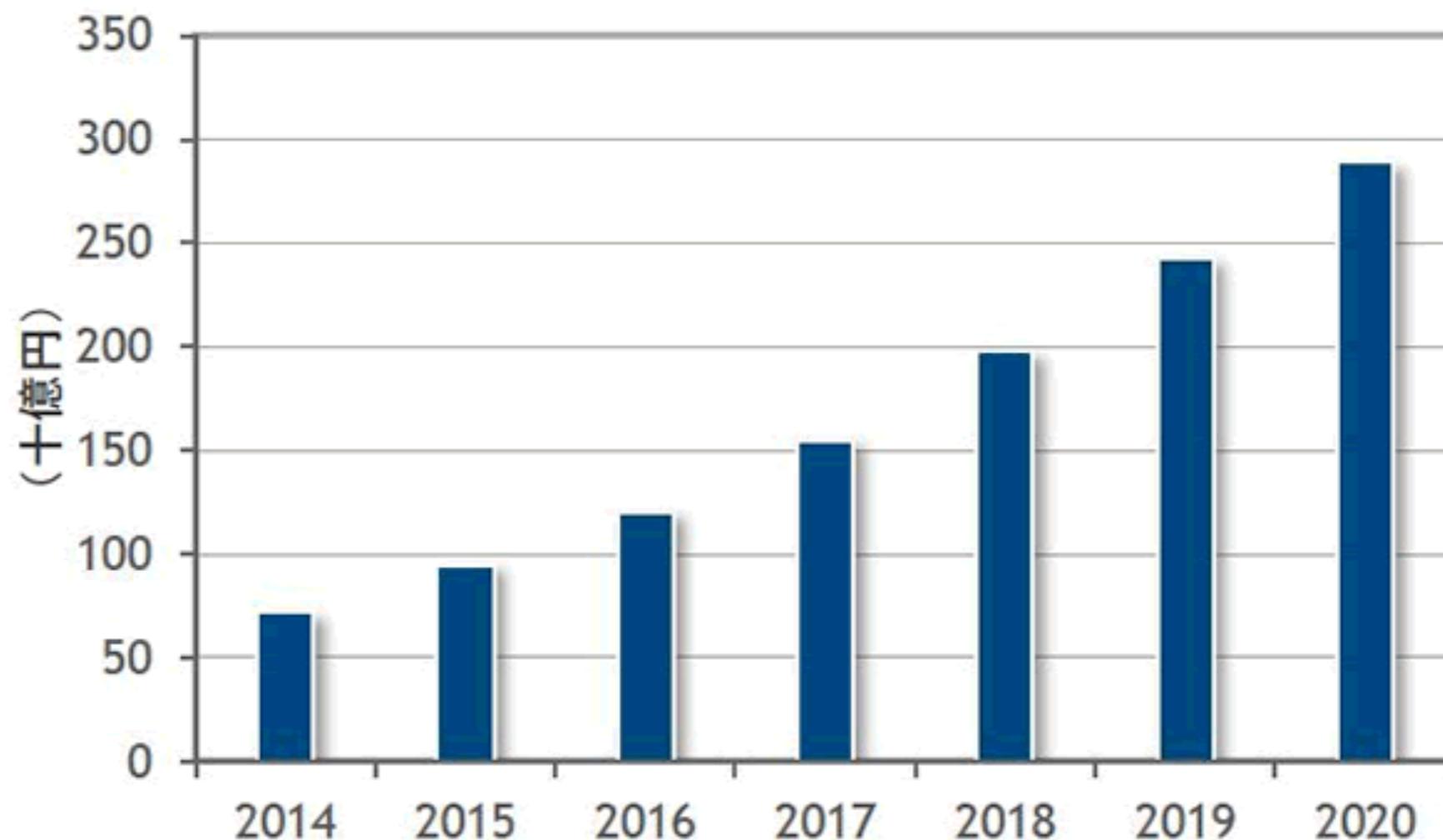


既存の献金市場は約**2000億円**

3 狙う市場

ゆくゆくデータという成長市場を狙って行く。

正確な市民データと紐づいたデータであるので、最初は政治家が利用したり正確な世論調査などに使われると想定しているが、データが何百万と蓄積されて行くと幅広い活用法がある。（日本のみのデータ）



4A ターゲットユーザー

スマホ世代で投票に行く2000万人がターゲット

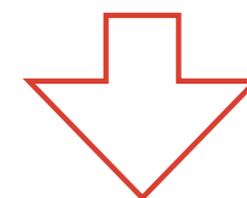
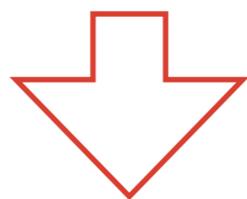
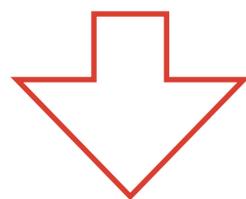
初期



ネットリテラシーや
人気がある政治家



政治に積極的な市民



成長期



選挙前の候補者
・その他の議員



投票のみ参加する市民

4A ターゲットユーザー

初期 : 政治家



初期ユーザーとしてターゲットは以下の層

- ・ 知名度のある政治家

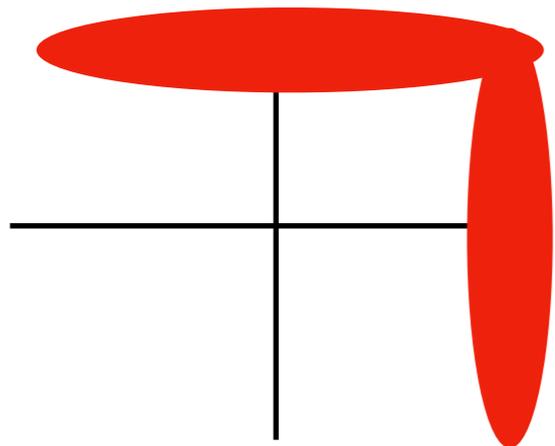
- 政治家のファン層の流入・ユーザー数増加を見込む

ネットリテラシーや
人気がある政治家

- ・ ネットリテラシーが高い/現状に不満を抱える政治家

- PoliPoliをぜひ使いたい・興味を示す政治家

ネットへの理解



課題への意識

4A ターゲットユーザー

初期 : 一般ユーザー



PoliPoliの初期段階のユーザーとして狙う層

政治に積極的な市民

- 政治への関心が高い
- 荒らされる/誹謗中傷を受けるなどの不安を抱える
- 政治的意見/アウトプットが出来てない

ネットへの理解

課題への意識

4A ターゲットユーザー

成長期 : 政治家



選挙前の候補者

- ・その他の議員

ネットへの理解

課題への意識

- ・選挙が行われる地区の政治家に導入してもらおう。選挙の際は票を獲得するために少しでもきっかけを増やしたい。
- ・一般ユーザー/政治家の導入数が増えると一気に拡大政治家が新たなツールを入れる条件は他の人がやっているのを見て遅れを取らないようにするため(複数人のヒアリングによる)

4A ターゲットユーザー

成長期 : 一般ユーザー



投票のみ参加する市民

選挙が行われるたびにユーザーを獲得していく。
多くは選挙が終わると抜けていくと予想されるが、政治関心が低くない層を中心に、少しずつアクティブユーザーを拡大させる。

ネットへの理解

課題への意識

4B 想定されるカスタマージャーニー

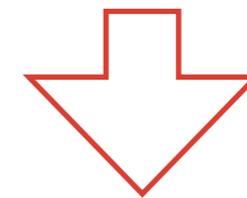
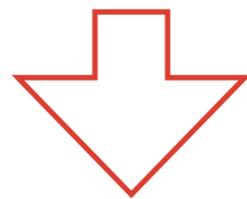
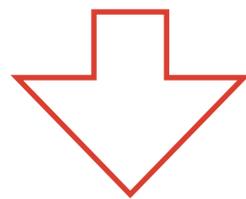
初期



ネットリテラシーや
人気がある政治家



政治に積極的な市民



成長期



選挙前の候補者
・その他の議員



投票のみ参加する市民

4B 想定されるカスタマージャーニー

初期 : 政治家

ステップ	気になる	探す	興味	DL	利用	投稿	推薦
行動	知り合いからの紹介 SNS/メディア PoliPoliの営業	記事紹介 HP/企画書 PoliPoliから聞く		DLする	利用する	意見交流 発信	親睦深い政治家へ紹介
現状課題	浮動票や新規の層を獲得したい 金銭面の圧迫	様々なツールを動かすのが面倒			市民の意見が欲しい アンチを排除したい		
解決策	選挙流入を見込む 獲得したい Polinの導入	PoliPoliのみの独自 価値を全ての入口で示す			意見箱機能 アンチが出ない コミュニティ醸成		

4B 想定されるカスタマージャーニー

初期 : 一般ユーザー

ステップ	気になる	探す	興味	DL	利用	投稿	推薦
行動	<p>知り合いからの紹介</p> <p>SNS/メディア</p> <p>政治ニュースを見て 特定の分野に関心</p>	<p>記事</p> <p>知り合いの話</p> <p>HP/企画書</p> <p>PoliPoliTwitter</p>	<p>記事</p>	<p>DLする</p>	<p>利用する</p>	<p>課題を政治家 に伝える</p> <p>政治意見の アウトプット</p> <p>支持政治家 の支援</p>	<p>周りの 政治関心 高い層へ</p>
現状課題	<p>特定の分野の専門家 ・現状が分からない</p>	<p>情報が多すぎ ないか？</p>				<p>政治的発言は 危険視される</p>	
解決策	<p>ホットニュースは イベントに 政治家に専門の タグを追加</p>	<p>トークルームにも タグの機能があり 必要な情報のみを得られる</p>				<p>匿名性でありながら 荒れないコミュニティ で安全を担保</p>	

4B 想定されるカスタマージャーニー

成長期 : 政治家

ステップ	気になる	▶ 探す	▶ 興味	▶ DL	▶ 利用	▶ 投稿	▶ 推薦
行動	知り合いからの紹介 PoliPoliの営業	記事紹介 HP/企画書 PoliPoliから聞く	DLする	利用する	意見交流 発信	政治家へ紹介	支援の可視化
現状課題	若年層に対する選挙の投票への導線			浮動票の獲得			
解決策	若者の使いやすさを重視 選挙の際のコンテンツ			選挙特設ページ 人気よりも自らの意見により依存			

4B 想定されるカスタマージャーニー

成長期 : 一般ユーザー

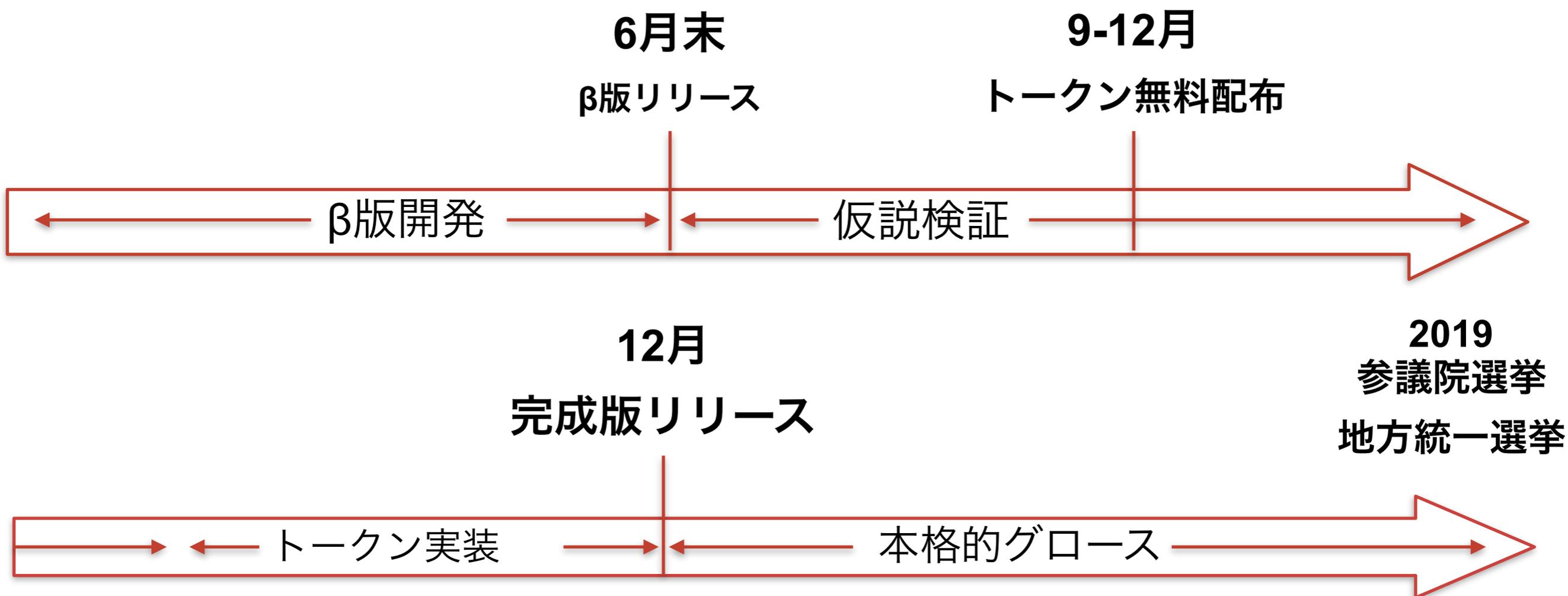
ステップ	気になる	探す	興味	DL	利用	投稿	推薦
行動	知り合いからの紹介 SNS/メディア 選挙	知り合いの話 政治家検索	記事 HP/企画書	DLする	利用する	見やすい 選挙情報 簡単な 政治知識 の獲得	選挙に行く 知り合いへ
現状課題	選挙の情報を得られる 信頼出来て分かりやすい情報			行く意義 投票先の決め方			
解決策	選挙特設ページの設置 提携メディアの比較可能			Polin支援により政治参加に意義 他者の意見・いいねを参考に 選挙チュートリアル機能			

5 マイルストーン-どのようなスケジュールでプロジェクトを進めるか

トークンを絡ませないβ版をリリースし各地の選挙や人気の政治家にお願いしながら、政治コミュニティを形成する。

徐々にトークンエコノミーを実装していき、2018年末に完成版をリリース。

2019年には、参議院選挙と地方統一選挙があり最高のマーケティングポイントとなる。



6 プロジェクトメンバーについて



CEO & CMO 伊藤和真

- ・慶應2年
- ・F Ventures東京アソシエイト
- ・プログラミングコミュニティ GeekSalonの立ち上げ
- ・俳句アプリを2018年春に毎日新聞に事業売却



CDO 山田仁太

- ・慶應 2年
- ・デザイン 責任者
- ・アプリPM
- ・SEOハッカー
- ・Web Marketing



CTO 倉田隆成

- ・慶應 2年
- ・衆議院選挙の際、中谷一馬氏事務所のマーケティング責任者。中谷氏を当選に導いた。
- ・ブロックチェーンエンジニア
- ・フルスタックエンジニア



モバイル エンジニア

千葉 大志

- ・SNS, CtoCなど様々なアプリ開発に携わる
- ・iOSDCなどのカンファレンスに登壇
- ・詳細は<https://github.com/bati668/resume>
- ・polipoli iOSアプリ開発を担当



顧問弁護士法律事務所
Zelo
テクノロジーに最も詳しい法律家のひとつ



BlockChain技術顧問

木村 優

- ・LCNEM CEO兼CTO
- ・京都大学経済学部在学



PoliPoli アンバサダー

- ・PoliPoliの理念に共感していただき、様々な業務をボランティアで手伝って下さる方々
- ・100名ほどいる

7A よくある質問

Q.1 なぜ仮想通貨なのか？ポイントでもできるのでは？

仮想通貨は市場での価値が変動します。前述しましたがそのトークンの流動性が高まれば高まるほどトークンの価値が上がるのでトークンを保有しているユーザーがコミュニティ内で活発になるインセンティブが働きます。（前述）

他のトークンエコノミーのサービスであると、トークンをもつユーザーがマーケティングを手伝ってくれる例もよく見られます。

また、ポイントであると決済店を一つ一つ見つけて行かないといけません。仮想通貨であった場合、将来的に全ての仮想通貨決済導入店で僕らのような独自通貨を使えるようになるとも言われていることです。

トークンエコノミーの方が前述のように様々なインセンティブをつけられるため、コミュニティを作りやすいという性質を持つということを理解して頂ければ嬉しいです。

Q.2 ICOするならば、仮想通貨交換業取得が必要では？

PoliPoliはICOを行いません。

というのも、ポリポリがトークンをユーザーに配布する時は全て無料であり、現時点において Polinは不特定の者に対して代価の弁済として利用できるものではなく、法定通貨、ビットコインその他の既存の1号仮想通貨（資金決済法第2条5項1号参照）との交換市場は存在しておらず、かつ仮想通貨取引所への上場時期も不確実かつ未定な状況なので仮想通貨ではありませんので、取得は必要ありません。

ただし仮想通貨市場は黎明期であり変化が激しい分野でありますので、その時の状況に合わせて方針を変える可能性はあります。

7A よくある質問

Q.3 仮想通貨を用いた献金は問題ない？

まだこの辺りの法律が整備されていないという問題がありますが、献金者の情報を取っていれば、個人献金は年間150万までOKとされています。

政治資金決済法や公職選挙法などの法令に顧問弁護士の方と相談しながら事業を進めていっています。

Q.4 トークンの価値は上がるのか

トークンエコノミーにおいては、トークンの需要を持たせトークンの価値を高めることがとても大事になっています。僕らの仮説としては、①政治家に献金したいという市場が既存で数百億円がある②データのニーズ ③サービスに価値を感じて「信頼スコア」をあげたいなどのためにトークンを買う、という3つの買う理由を見えています。

しかし、まだまだトークンを買う需要をつけて行きたいと思います。

僕らの場合では使うプラットフォームであるNEMの独自通貨の上限である90億枚を総発行量としており、運営の新規発行に夜による急激なインフレなどはおこらないように設計しております。

詳しくはこちらのブログ→ https://note.mu/polipoli_kazuma/n/n77832c86e260

Q.5 プロジェクトアンバサダーにはなれる？

常時募集しています！気軽にメッセージなどを送ってください。

一緒に世界を変えましょう！！！！

7B 引用

以下の情報を引用させて頂きました。ありがとうございます。(2018年6月17日の情報)

1A国会議員のネット利用

「日本経済新聞 データディスカバリー」

<https://vdata.nikkei.com/datadiscovery/06/>

2Aビジネスモデル図

「なぜビジネスモデルを図解するのか？どう図解するのか？裏側やノウハウの全図解まとめ」

<https://note.mu/tck/n/n590483b4ae22>

2Bマネタイズの参考数字

「CoinMarketCap」

<https://coinmarketcap.com/currencies/steem/>

3狙う市場

「ドットジェイピー ラポールジャパン」

<https://rapportjapan.info/>

「IDC調査-ビッグデータ市場について」

https://www.principle-c.com/column/global-marketing/idc-bigdata/#_1195937463.1529200731

参考にした論文

田代光輝 「ネット選挙解禁は目的を達したか」

参考にしたプロジェクト

「Steemit」

<https://steem.io/steem-whitepaper.pdf>

「ALIS」

https://alisproject.github.io/whitepaper/whitepaper_v1.01_ja.pdf

「Proxima X」

<https://proximax.io/ProximaX-Whitepaper-v1.4.pdf>

その他トークンエコノミーのプロジェクト

We entertain politics

政治のトークンエコノミーを作る「ポリポリ」の概要